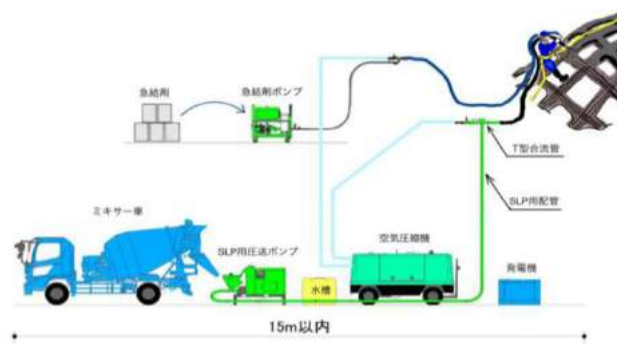


## SLPショット工法（長距離圧送吹付工法）

SLPショット工法は、コンクリートポンプを用い生モルタルを専用管にてポンプ圧送し、合流管よりエアを合流させて吹付ける工法です。品質を低下させることなく、長距離・高所部へ吹付を行うことができます。

従来の小型・中型コンクリートポンプの常識を破った圧倒的な圧送能力を有しています。

コンプレッサーの高所への設置や移設、構台設置の必要はありません。施工範囲は直高170m以下、水平560m以下で適用が可能な工法です。



コンクリートポンプSP-7E



専用吐出管2.5B



吹付け状況

エア合流部





### 【施工事例】

豪雨災害で崩れた法面の保護工事を行いました。

高所法面（最大直高136m）でモルタル吹付を行う場合、骨材の比重差による材料分離で、モルタルの品質低下が課題でした。

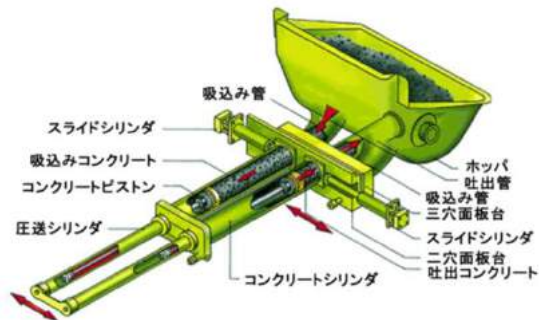
SLPショット工法は、新たに開発されたピストン式圧送方式を採用し、従来のポンプ圧送では不可能とされてきた長距離・高所圧送が可能となりました。

圧送区間は流動性の高いモルタルで圧送し、吹付ノズル手前40mからエアール・急硬剤を合流させ、型枠がない簡易吹付法枠を施工しました。



### コンクリート圧送における理想の圧送構造

コンクリート圧送の最良条件とは、  
吸込み効率が高く、  
吐出抵抗がなく、  
圧送物の性状変化が少ないことです。



### 【開発元】

株式会社シンテック

〒781-8135 高知県高知市一宮南町2-6-23

tel:088-883-1755 fax:088-883-1754

### 【取扱店】

株式会社ケイエフ

〒590-0021 大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町8丁7-7

tel:072-232-6060 fax:072-232-6008